

3月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

60,330円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代)	18,060円
交通費(駐車場、燃料代、高速代)	9,450円
会場費	600円
通信費(携帯電話代、折込代、郵送代)	32,220円
支出計 09/3/4~09/3/31	60,330円

市政を考える 月刊武松

発行日
09/4/1

第99号

16000部発行

たけまつ ただし

頒布責任者：武松 忠 (市議会議員)
武松政策研究会

新年度予算成立!?

再開発・新ホール予算は先送り!? 土木費減、教育費伸びる

2009年度予算は、3月25日の本会議で、賛成多数で可決されました。

歳入面では、昨今の経済状況より市税収入が落ち込む(-14.3億円、前年予算比-4.1%)見込みです。

図1の義務的経費は04年度を除きほぼ横ばいですが、図2内訳のとおり、増え続ける扶助費を人件費の削減で補っています。09年度は、定年退職者増等により1.9%の増となっています。

歳出全体では、投資的経費(-9.5%)を抑えています。

■2009年度予算規模

一般会計 554億0000万円 (+0.2%)

特別会計 600億2980万円 (-0.8%)

競輪、天守閣、下水道、国保、国保診療施設、公設市場、老人保健医療、後期高齢者医療、介護保険、宿泊等施設の10事業

企業会計 163億2341万円 (+2.5%)

水道事業、病院事業の2事業

全会計 1317億5321万円 (-0.0%)

■一般会計予算の特徴

主な歳入

(1)市税 331億6800万円(-4.1%)

(2)市債(借金) 31億2980万円(+77.0%)

うち臨時財政対策債 18億0000万円(+80.0%)

臨時財政対策債：国の地方交付税特別会計の財源が不足したため、地方交付税の交付額を減らし、その穴埋めに、市に地方債を発行させる制度。市が借金をする形式をとり、返済は後年度の地方交付税で措置されるが、小田原市のような地方交付税不交付団体はそのまま借金となる。

歳出

(1)投資的経費：道路、施設等整備

47億1658万円(-9.5%)

(2)義務的経費：必ず支払わなければならない経費

人件費+扶助費+公債費

285億4441万円(+1.0%)

うち人件費 116億8177万円(+1.9%)

扶助費 104億5294万円(+1.7%)

公債費(借金返済) 64億0970万円(-0.5%)

扶助費：生活保護費、障害者支援費、保育所運営費、

児童手当、医療費助成等 裏面に続く→

図1 一般会計歳出(性質別当初予算)

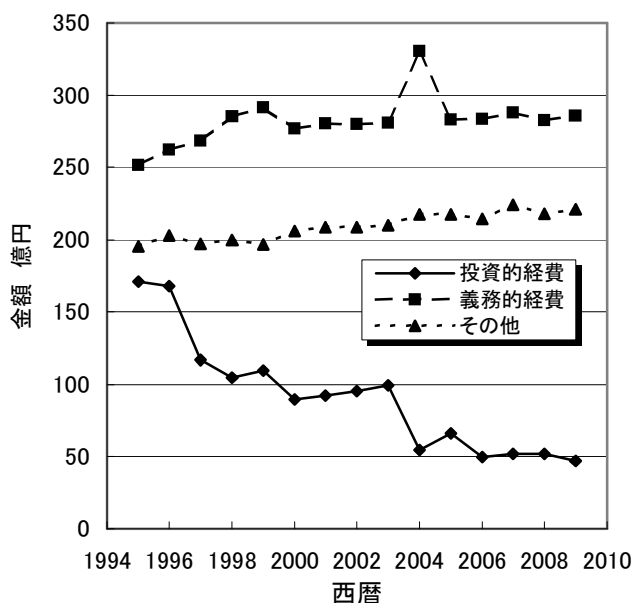
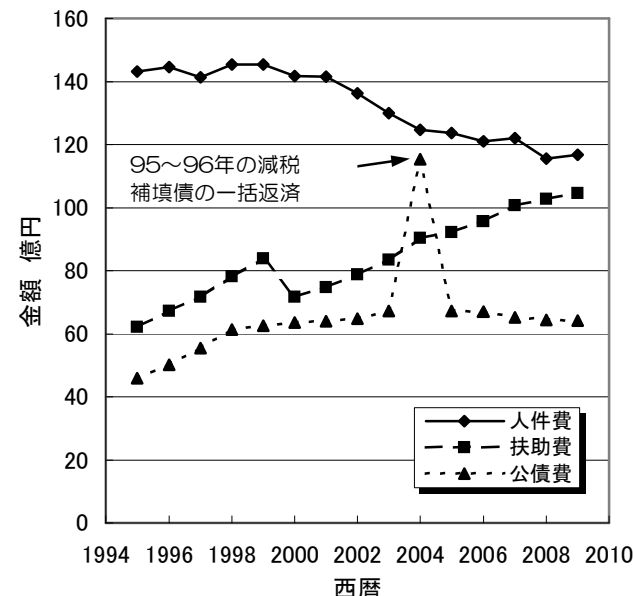


図2 一般会計歳出 義務的経費内訳



■一般会計の主な事業の予算額

09年度の特徴的な予算を以下に列記します。図3は、主な費目別歳出の推移を示します。(変化の少ない費目は省略しました。)特徴は土木費の減額と教育費・商工費の増額です。

総務費

- ・総合計画策定事業：825万円
- ・酒匂川防災ステーション整備事業：1億0327万円

商工費

- ・中小企業経営安定化緊急融資事業：2億8000万円
- ・企業誘致促進事業(西湘テクノパーク関連)：2億7246万円
- ・地方の元気再生事業(手形、小田原どん他)：3687万円

教育費

- ・史跡小田原城跡整備事業(馬屋曲輪他)：3億1512万円
- ・特別支援教育推進事業：6618万円
- ・少人数学級編制事業(2年生まで拡大)：2890万円
- ・学校等施設整備事業：1億1300万円
- ・学校教育施設等耐震補強事業(耐震化率100%)
7億1870万円

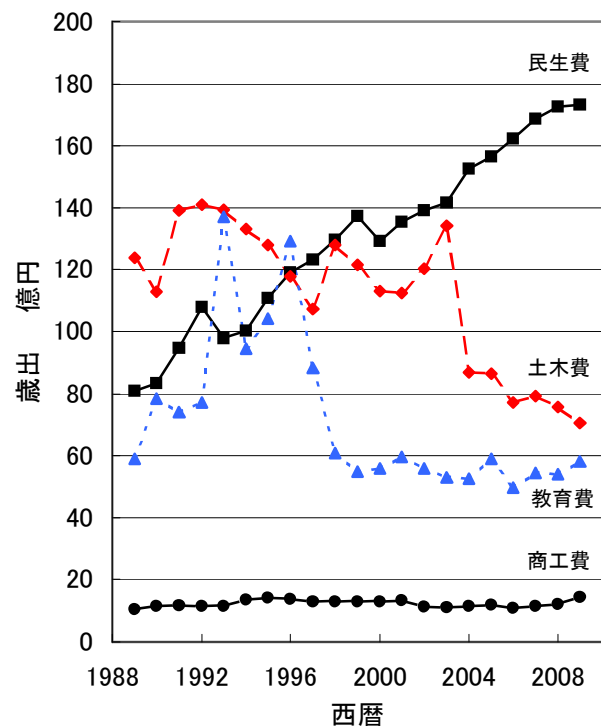
土木費

- ・こどもの森公園整備事業：2億5040万円

民生費

- ・障害者地域作業指導事業費補助：1億3423万円

図3 主な一般会計歳出推移(当初予算)



The Voice これまでに頂いたご意見から

自治基本条例・・・ Cさん

月刊武松を拝読しました。「市民の意見」とは何なのか、何を指しているのか、私も疑問に思っています。市民の代表は、市長と市議会議員です。公募の数人の意見が市民を代表する意見だとはどうしても思えません。現行の地方自治制度、議会制民主主義が機能していないということなら、そこを改善するように努めるべきだと思います。是非、がんばってください。

(無題) アーバン陳情者さん

月刊武松に自治基本条例の狙いが以下のように書かれていました。本来の自治のあり方に反し、行政や議会といった正規の組織とは別に市民の組織作りを始める。権力の二重構造を作り上げる。これに議会を縛る権威と権限をもたせ、議会を空洞化させ、「市民と称する勢力」の自治体に変質させること。

小田原市議会は、駅前再開発でアーバンはさんさん危険という報道がなされるなか事業者として認め、今の混迷を招いたと普通の人は思っています。ならば、市民と称する一般住民が、市のチェックをした方がマシという考えは極当たり前だと思います。批判より議員改革を確実にを行う方が先ではないでしょうか。

武松政策研究会からのお知らせ

4月から、都合により朝の駅頭配布ができなくなりました。配布方法は改めて検討します。そのため、HPでの確認をお願いします。

メール配布希望者は、ttakemat@hk.airnet.ne.jp まで

4月の勉強会は、都合により中止します。

衆議院解散が行われた場合、予告なしに休刊する場合があります。

i-mode HP →



HPは、**YAHOO!**で「たけまつただし」 月刊武松バックナンバー全て掲載しています。

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通口座 7941377 タケマツタダシ

さがみ信用金庫 大井町支店出張所 普通口座 0051228 武松政策研究会 武松忠 まで
月刊武松は**本人とボランティアが配布**しているため、行き届かないところがありますが、読み終わりましたら知合いの方にお渡しいただくと幸いです。また、**eメールでも送付していますので連絡下さい。**